

取水量にかかる報告データ改ざんの概要(川合発電所)

川合発電所の概要

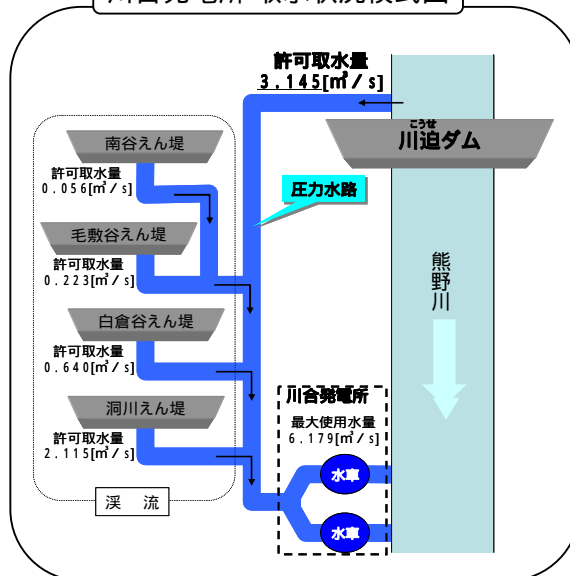
所在地：奈良県吉野郡天川村
 運転開始：昭和15年11月
 最大出力：7,000kW
 水系：新宮川水系 熊野川他

【水利権更新】

昭和43年 8月
 平成10年10月



川合発電所 取水状況模式図



データ改ざんの概要

○河川法に基づく取水量報告

昭和43年より、水利使用規則に基づき毎年1回、毎日の取水量(日平均流量)の報告を国土交通省近畿地方整備局長へ報告している。

○改ざんの経緯と概要

取水口毎の取水量報告にあたり、川迫ダム取水量は、「発電所の出力により算出した発電所の使用水量」より「4箇所のえん堤の実測取水量の合計」を差し引いて算出するが、計算の結果、川迫ダム取水量が許可最大取水量を超過した場合、その超過分を4箇所のえん堤の取水量に配分する操作を実施して報告書を作成し、河川管理者へ提出していた。

○許可最大取水量超過期間

昭和15年11月～現在(超過日数は不明)

○改ざん期間

平成10年～平成17年報告分

【安全性について】

水路自体が、許可最大取水量(3.145m³/s)以上を取水できる構造(通水能力約6m³/s)となっており、安全性に問題はないと考えているが、発電機が急に停止した際の水圧の上昇に対して構造的に安定しているかについては、検討を行う予定である。